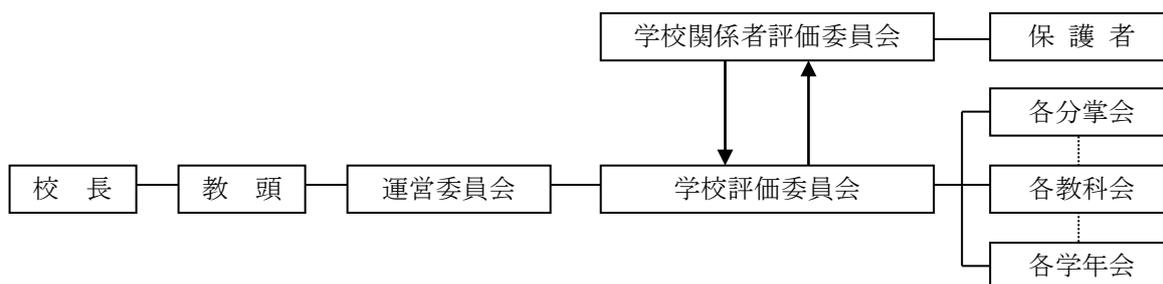


学校評価

(1) 学校評価のための組織



(2) 学校評価の年間計画

4月 PLAN (計画)	課題・重点目標の設定 ・ 分掌別取組課題の検討 ・ 具体的方策 ・ 留意事項 情報受発信の検討	学校評価委員会で検討 運営委員会・職員会議で報告 PTA 総会で概要説明 学校ホームページに「重点目標」掲載 学校評議員への提示 地域の中学校への訪問・説明
通年 DO (実践) 9月 CHECK (評価)	中間評価の実施 ・ 取組状況の確認 ・ 改善点の検討 中間評価のまとめ ・ 評価結果と課題	学校評価委員会でまとめ 運営委員会・職員会議で報告 PTA 委員への概要説明 学校ホームページに「中間評価」掲載
3月 ACTION (改善)	年度末評価の実施 ・ 評価結果と課題 ・ 教育内容・活動の改善 次年度の重点目標の検討	学校評価委員会でまとめ 学校関係者評価委員会の開催 運営委員会・職員会議で報告 PTA 委員への概要説明 学校ホームページに「年度末評価」掲載

(3) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化 ・ スクールポリシーの具現化 ・ 生徒の生活習慣、学習習慣の確立 ・ さまざまな支援を必要とする生徒の実態に合わせた適応指導 ・ 新学習指導要領への対応、カリキュラム・マネジメント ・ 生徒の希望する進路実現に向けた進路指導の充実 ・ 様々な学校行事における、生徒主体の計画と活動の実践 ・ 総合ビジネス科・普通科の併置校のメリットを生かした学校教育の実践 ・ 教職員の多忙化解消		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	P T A活動への積極的な参加促進。 内容の充実と積極的な更新。	・ 役員、常任委員との連携を密にする。 ・ H Pの更新頻度を高め、「壁新聞」、「学校案内」を発信。	・ 各種行事の情報を早期より幅広く流す。 ・ H P更新の遅滞を解消し、紙媒体での魅力発信にも努める。
教務	新課程の評価方法の充実	・ 評価方法の例を提示し、負担感の少ない評価方法を確立する。	・ 担当者だけで評価するのではなく、すべての教員で新課程の評価にかかわる。

図書文化	文化行事の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトークの継続と平和教育、人権教育への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般生徒の参加への工夫に取り組む
生徒指導	いじめ防止及び未然防止 時代に対応した生徒指導の在り方の考察	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との面接やいじめアンケートの実施、生徒相談箱の設置などを通して、いじめの早期発見に努め、適切に対応する。また、学年会、学年主任会、教育相談委員会等と連携し、情報の共有化を図る。 ・本校の校則の現状について時代に対応しているのかを学校全体で考察する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの認知数による評価。いじめに係る情報（いじめが疑われる情報や人間関係に関する悩み）があった場合は情報の迅速な共有を図る。 ・本校の伝統及び特色を考慮し、改善できる項目については変更していく。
進路指導	進路指導資料活用の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の分析について外部の協力を得て、生徒の進路実現に資する資料を作成し、活用する。 ・大学入試に向けた基礎学力を含む学力分析を各学年の進路指導部員で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力向上のため、スタディーサポートの分析について、外部講師による指導を各学年で実施する。 ・各学年の進路指導部員でスタディーサポート以外の模試分析を担当し、結果を各教科担当者へフィードバックする。
保健厚生	校内美化活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の校内美化週間を通じて、校内美化の意識の向上と日々の清掃活動の効率化および充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員の生徒が清掃点検を行い、具体的なフィードバックを清掃監督の先生方へ実施し、清掃活動を充実させていく。
生徒会	年間を通じて生徒の主体的行事運営の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会を充実させる。 ・各種行事における生徒の役割を活性化させる。 ・生徒会役員が代表として各行事の説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会からクラスの伝達事項を正確に伝えさせる。 ・評議員がクラスに正確に伝えられるように工夫をする。 ・各種行事において準備等に部活動の生徒を主体的、積極的に参加させる。
第1学年	挨拶及び基本的な生活習慣の確立・豊かな心の育成 家庭学習習慣の確立 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が率先垂範し、挨拶を励行させる。集会・HR・面談などを通して、授業や部活動に主体的に取り組むように働きかける。行事や授業において他人を思いやる心を形成できるよう働きかける。 ・継続的な家庭学習の重要性を伝え、定着するよう働きかける。 ・自分の興味・関心や価値観、意思決定スタイルなどを客観的に分析し、将来の職業像をイメージさせることによって、進路目標の設定に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を含めたマナーの大切さをしっかり伝える。あらゆる場面で良い生活習慣が学習や部活動の成果につながることを理解させる。教師間の連絡を密にし、生徒が新たな挑戦をし活躍できる場を確保するよう努める。いじめや偏見の無いよう、道徳教育を促す。 ・スケジュール帳を利用して学習・生活時間等の記録を継続し、面談等に活かす。 ・進路講演会や総合的な学習の時間・HR等により、自己の興味・関心や価値観を理解させ、進路目標の設定に繋げる。

第2学年	進路希望を明確にし、検定や模試に対する意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部・教科とも連携し、進路検討会を充実させ、学年団の意識を共有し、的確な進路アドバイスをする。 ・担任だけでなく、教科担任などの様々な立場から検定や模試に対する姿勢の話を継続的に行い、資格取得や模試に対して積極的な姿勢を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換や意見交換を密に行い、学年団としての方向付けをしっかりと行う。また、進路に対して積極的に調べさせ、主体的に進路希望を明確にさせる。 ・職業観や進学に対する意識を高めるために、学年会や授業など様々なところで検定や模試の話しをすることで意識を高める。
第3学年	個々の適性及び希望に対応した進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と学年・教科・担任の連携を図る。 ・担任や進路担当者や生徒の個別相談を充実させ、希望進路実現までの段階的目標の設定を図る。 ・適切な進路情報の提供をおこなう。 ・学習記録を活用した家庭学習の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路検討会などにおいて、教職員の共通理解を図り、足並みを揃えた指導に務める。 ・各担任が生徒面談を重視し、適切な目標を設定しながら生徒に寄り添った助言をするなど、粘り強い指導をする。 ・複雑化する大学入試制度について、生徒だけでなく保護者にも進路説明会などを利用し、積極的に適切な情報を提供する。 ・生活習慣を見直し、時間の使い方の工夫から短期・中期・長期と計画的に学習活動を進め、目標に向かっての進捗管理・やるべきことの課題を自ら設定するように促す。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	全職員への周知及び、適切な運用。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止基本方針の周知を徹底するとともに、各職員が実際に方針に沿った行動をとることができているかを点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部が中心となり、各学年とも連携を取りつつ、いじめ防止基本方針に沿った取組を実施する。
勤務時間の適正な管理及び健康障害防止	業務改善の推進と実行 教職員の年次休暇の計画的な使用	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間を客観的に把握し、時間外在校時間の上限が遵守できるよう、業務改善、分担の見直し等を行う。 ・業務の適正化を図り、積極的な年次休暇の取得を促し、メンタルヘルスの保持に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の教員に業務が集中している状況を改善し、チームでの業務遂行を図る。 ・タイムマネジメントに関する意識の醸成、啓発活動を継続し、積極的な年次休暇取得を促す。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<p>心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校行事やPTA活動への保護者の積極的な参加 2 授業改善の進捗とカリキュラム・マネジメントの整備状況 3 いじめ未然防止の取組とその成果 4 進路指導体制の確立とその成果 5 校内美化活動の推進とその成果 6 各学校行事への積極的な取組とその成果 7 キャリア教育の推進とその成果 8 新しい商業教育の実践と地域貢献の状況 9 教職員の勤務時間の適正管理と健康障害防止 10 スクールポリシーの具現化 	

(4) 前年度の学校評価結果と課題

ア 自己評価結果等

前年度の 重点目標	<p>心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールポリシーの具現化 ・生徒の生活習慣、学習習慣を確立 ・特別な支援を必要とする生徒の実態に合わせた適応指導と、複数での情報共有と複数での適切な対応 ・新学習指導要領への対応、カリキュラム・マネジメント ・様々な学校行事における、生徒主体の計画と活動の実践 ・総合ビジネス科・普通科の併置校のメリットを生かした学校教育の実践 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務	<p>P T A 活動への積極的な参加促進。 内容の充実と積極的な更新。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役員、常任委員との連携を密にする。 ・HPの更新頻度を高め、「壁新聞」、「学校案内」を発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事の情報を幅広く流し、役員、常任委員のみに偏らない参加を促す。コロナ禍に対応した連携がしっかりととることができた。 ・HP更新頻度を多くするための方法を見直し、内容について再検討する。 ・生徒の魅力やアピール点を「学校案内」や「壁新聞」によって紙媒体での発信にも今後努める。
教務	<p>業務の効率化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のデジタル化・共有化を図り、ペーパーレスおよび時間短縮に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のデジタル化により、ペーパーレスおよび時間短縮ができた。一方、先生方個々人で資料をプリントアウトすると、経費が余分にかかるため、紙とのバランス調整が難しい。
図書文化	<p>文化行事の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書文化委員会の定例化、主権者教育・人権教育への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週委員会を開催して、読書会で主権者教育に関する発表を行った。
生徒指導	<p>いじめ防止及び未然防止 時代に対応した生徒指導の在り方の考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との面接やいじめアンケートの実施、生徒相談箱の設置などを通して、いじめの早期発見に努め、適切に対応する。また、学年会、学年主任会、教育相談委員会等と連携し、情報の共有化を図る。 ・本校の校則の現状について時代に対応しているのかを学校全体で考察する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの結果から担任学年生徒指導部と連携し早期解決に努めた。教育相談委員会と連携し生徒の状況把握をした。部活動における相談は顧問と情報共有した。来年度はいじめ対策委員会を活用していきたい。 ・服装等規定の一部変更、減少している生徒数を踏まえた生徒指導部に係る事項の見直しをした。来年度以降も引き続き時代に対応した生徒指導の在り方を考察したい。
進路指導	<p>進路指導資料活用の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の分析について外部の協力を得て、生徒の進路実現に資する資料を作成し、活用する。 ・大学入試に向けた基礎学力を含む学力分析を各学年の進路指導部員で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの基礎診断では全学年において資料を作成し、各学年団で検討することができた。年度の始めにおいて生徒の基礎学力を把握するためにも今後も継続したい。 ・各学年において模試分析を中心とした学力分析を実施することができた。

<p>保健厚生</p>	<p>A E D への理解度の向上</p> <p>新型コロナウイルスの感染予防対策の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となつてのA E D講習会の運営・実施をし、研究の成果を文化祭で発表する。また、保健だよりの作成を行い積極的な発信をする。 ・放課後の消毒作業の徹底や登下校時・食事前の手洗いうがい及び換気、黙食を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒がA E Dに対する理解度が深まり、有意義な講習会となった。 ・基本的な感染予防対策が定着してきたこともあり、校内での大幅な感染拡大は防ぐことができた。引き続き、感染予防対策を継続していきたい。
<p>生徒会</p>	<p>年間を通じて生徒の主体的行事運営の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会を充実させる。 ・各種行事における生徒の役割を活性化させる。 ・生徒会役員が代表として各行事の説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会を定期的に関き、生徒の主体的な活動に生かすことができた。 ・各種行事において生徒会役員が代表として行動することができたが、他の生徒にももっと役割を与えられる場面があり、それを今後の課題としていきたい。
<p>第1学年</p>	<p>挨拶及び基本的生活習慣の確立・豊かな心の育成</p> <p>家庭学習習慣の確立</p> <p>キャリア教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が率先垂範し、挨拶を励行させる。集会・HR・面談などを通して、授業や部活動に主体的に取り組むように働きかける。行事や授業において他人を思いやる心を形成できるよう働きかける。 ・継続的な家庭学習の重要性を伝え、定着するよう働きかける。 ・自分の興味・関心や価値観、意思決定スタイルなどを客観的に分析し、将来の職業像をイメージさせることによって、進路目標の設定に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部の生徒を中心に、大半の生徒が自主的に挨拶できるようになった。また、まじめな生徒が多く、授業や部活動に主体的に取り組み、基本的生活習慣が確立されている。しかし、一部の生徒の遅刻や欠席が目立ちここにに応じた指導を行っていきたい。 ・学習時間は増えてきているが、まだ不足している。学習する意義を伝え、主体的に取り組めるよう指導していきたい。 ・検討会や学年会を通じて、2年後を見据えた指導法を学年団で共有することで、生徒全体の進路に対する意識が高まった。より具体的な進路が描けるよう指導していきたい。
<p>第2学年</p>	<p>進路希望を明確にし、検定や模試に対する意識を向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と連携し、進路検討会を充実させ、学年団の意識を共有し、的確な進路アドバイスをする。 ・担任だけでなく、教科担任などの様々な立場から検定や模試に対する姿勢の話を継続的に行い、資格取得や模試に対して積極的な姿勢を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの慣例にとらわれず、生徒の実態に合わせた進路検討会が、普通科・総合ビジネス科ともに実施できた。 ・商業科の先生の協力もあり、検定に対する意識が高くなり、合格率も上昇した。普通科も模試に対しては積極的に受験していたが、進学に対する意識はまだ不足していると感じた。
<p>第3学年</p>	<p>個々の適性及び希望に対応した進路希望の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と学年・教科・担任の連携を図る。 ・希望進路実現までの段階的目標を設定させる。 ・学習記録を活用した家庭学習の 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職・進学ともに積極的に声掛けを行い、本人の希望を汲み取りながら必要な情報を提供することで、進路希望実現への意欲を維持させることができた。日頃からの声掛けを今

		充実を図る。 ・担任や進路担当者と生徒の個別相談を充実させる。 ・適切な進路情報の提供を行う。	後も継続していきたい。 ・就職希望者の職種の適性については自己分析を含め、もう少し早い時期から考えさせる機会を持たせたい。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	全職員への周知及び、適切な運用。	・学校いじめ防止基本方針の周知を徹底するとともに、各職員が実際に方針に沿った行動をとることができているかを点検する。	・いじめに関する問題を、生徒指導部や教育相談員会が中心となって、組織として対応することができた。
勤務時間の適正な管理及び健康障害防止	業務改善の推進と 実行 職員勤務時間の短縮	・ワーキンググループによる対応策の立案・実行を目指す。 ・在校時間を短縮するための、啓発・声掛け・定時退校日の設定。	・年休や割振り変更等、取得しやすい職場の雰囲気づくりを心掛けた。 ・定期考査中や長期休業中は 17 時 30 分に閉庁できるよう、声掛けした。
総合評価	重点目標の達成を目指して教職員が連携し、意欲的に取り組んだ。生徒がそれぞれの活動を主体的に行動できるよう努めた。教職員の働きかけが生徒の活動に示唆を与え、着実に成果が上がっている。いじめの未然防止や、学習指導、進路指導については継続的な取組が必要であり、今後も粘り強く地道な、生徒個々の状況にあった指導を心掛けていきたい。		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	心身ともに健康で「やり抜く力」をそなえた生徒の育成 ～「夢に向かって全員が主人公、希望がかなう津島北高校」の具現化 1 学校行事やPTA活動への保護者の積極的な参加 2 各部活動への積極的な取組とその成果 3 授業改善の進捗、地域貢献の状況 4 進路指導体制の確立とその成果 5 一人一人の良いところを認め、伸ばす指導の実践 6 生徒の「豊かな心」を育む教育の推進 7 キャリア教育の推進とその成果 8 教職員の勤務時間の適正管理と健康障害防止 9 スクールポリシーの具現化
自己評価結果について	・個々の生徒の特性に応じ、しっかりとした指導がなされていると思う。 ・部活動や各種コンテストなど、勉学以外の分野でも活躍されているのがよくわかった。 ・学校祭（文化祭・体育祭）にPTAとして参加することができた。今後も参加しやすい状況を続けてほしい。
今後の改善方策について	・HPの更新回数が多いほど、保護者の閲覧が多い。SNSも含め、生徒が関わる、生徒の活動がわかる内容があると良いのでは。
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	・学校再編に向けた、制服や校則の見直しについて、時代に即したものにしてほしい。 ・人権をテーマとした教職員研修や生徒への講話を実践してほしい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	構成…5名（学校評議員4名及びPTA副会長1名） 評価時期…2月下旬

(5) 経営管理上の問題点等

- ア 学習指導、進路指導、生徒指導の諸課題に対して一層の充実を図る。
- イ 家庭と地域、地元企業や中学校と連携し、信頼される学校づくりを推進する。
- ウ 学校再編に向けて、学校組織の活性化を図る。
- エ 教育活動の情報発信に努める。
- オ 学校評議員制度、学校関係者評価を学校運営に活用する。